



東海地区医学図書館協議会2014年度実務者担当研修 会東海目録研修会第1回合同研修会参加報告

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 静岡県医療機関図書室連絡会事務局 公開日: 2016-12-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 黒田, 和美 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10271/3069

東海地区医学図書館協議会 2014 年度実務者担当研修会

東海目録研修会第 1 回合同研修会参加報告

藤枝市立総合病院 図書室 黒田和美

日時：平成 26 年 10 月 28 日（火） 10：00 ～ 16：00

会場：名古屋市医学部基礎研究棟 1 階 会議室 2

内容：1. シリーズ「医学・医療を学ぶ」第 4 回 ①

「米国の病院図書館：メイヨークリニックに学ぶ」

講師 福永 肇氏（藤田保健衛生大学 医療科学部 医療経営情報学科教授）

2. シリーズ「医学・医療を学ぶ」第 4 回 ②

「図書館と病院管理」

講師 山内 一信氏（東員病院・認知症疾患医療センター院長）

3. 病院図書室の 1 年

話題提供：柴田 真由美氏（豊橋市民病院医学情報室）

司 会：河原林 喜美子氏（名古屋市立東部医療センター図書室）

4. 目録ユーザー会

1. 「米国の病院図書館：メイヨークリニックに学ぶ」

米国ミネソタ州湖ロチェスター市の Mayo Clinic を訪問した報告があった。

患者向け情報施設には、患者図書館（セントメアリー病院、ロチェスターメソジスト病院）と教育センター（患者教育センター、がん教育センター）の 4 つがある。

Mayo Clinic の理念「“The needs of the patient come first(患者のニーズが最優先)”」がこれらの施設で実践されている。例えば、動けない患者さんの病室に、図書館の方が図書を届けている。本の返却ポスト“Book Drop”が、図書館入口や病院内各所に設けられていることなどである。多くの写真資料から図書館の様子がよくわかり、“患者のニーズが最優先”の大切さを知ることができたので、当院（藤枝市立総合病院）の患者図書室においても実践していきたい。

2. 「図書館と病院管理」

図書館の置かれている現状、図書館の価値をあげるには、公共図書館・大学図書館の現状、病院図書館のあり方、医療情報最近の話題などについて講義があった。

佐賀県・武雄市図書館は、民間に運営委託し、雑誌・文具販売、カフェ・ダイニングの導入、365 日、朝 9 時から夜 9 時まで開館時間、利用者は 2013 年 4 月から 6 月の 3 か月間で 26 万人を突破した。成蹊大学・吉祥寺キャンパスでは、SF の世界のように図書館の中にドーム状建築物があり、個人閲覧室・グループ閲覧室の設置など、建物が新しくなって利用者が 30 万人から 60 万人に増えた。病院・医学部図書館のあり方の一つとして、企画展の開催があげられた。名古屋大学医学部図書館では、2014 年 6 月～9 月「千年の医書—平安時代から江戸時代までの古医書の世界—」を開催した。民間に運営委託、図書館施設の工夫、地域社会への情報発信など、

新しい価値観の創造が利用者の増加につながったこと、個性ある図書館づくりが必要だと再認識した。

3. 病院図書室の1年

豊橋市民病院医学情報室の1年間の業務内容をわかりやすく紹介していただいた。

(1) 図書室紹介：平成26年4月より図書室から「医学情報室」へ名称変更

- ・ICカードにより24時間入室可能
- ・面積 130 m²、閲覧席数 12席、電子カルテ用パソコン 2台、院内GW用パソコン 5台、プリンタ 3台、スキャナ 3台、コピー機 1台
- ・図書 約5,300冊、雑誌 和 127誌、洋 67誌、電子ジャーナル 1,940タイトル、製本雑誌 約8,100冊

(2) 年間スケジュール

4月：利用案内、前年度統計、新年度書類差替え、新予算執行、新着図書案内

5月～7月：ILL件数増加、新着図書案内、図書委員会準備

8月～9月：図書委員会、来年度予算要求、看護研究

10月～12月：新着図書案内、第1回製本（和雑誌）、第2回製本（洋雑誌）

東海地区重複雑誌交換準備、看護研究

1月：新着図書案内、電子ジャーナル一覧更新、医中誌・PubMedリンク修正

東海地区重複雑誌交換

2月～3月：雑誌廃棄、雑誌目録の更新、KITOcat雑誌データ修正、書庫内の

雑誌移動、年度内予算消化、今年度整理・次年度準備

最後に1年を通じて変わらないこととして、「豊橋市民病院にいけば何とかしてもらえる。」「豊橋市民病院に行って満足した。」このように言ってもらえる病院にしましょう。』という豊橋市民病院の使命の紹介があった。

1年の業務計画をたてることは、図書業務を滞りなく遂行するために重要である。

業務の見直しもできるので、年間計画と目標をしっかりと立てたいと思う。

4. 東海目録ユーザー会

東海目録会員より、蔵書点検の方法・期間、図書費の配分、利用実態等の質問があり、参加者から回答していただいた。大学、病院それぞれの機関での業務について直接お話を聞くことができ、今後の業務の参考になり、有意義なものとなった。

①蔵書点検 大学：休館して蔵書点検を行う。夏、1週間休館にして行う。

蔵書数10万冊を5年で一回りする。

病院：2年に1度行う。各科で保存している書籍は各科で行う。

古い書籍は、使用が少ないので点検はしない。

看護、研修医関連の書籍は、Excelでリストにして点検する。

②図書費の配分 病院：経理、図書室、委員長で決める。

医師・技師の人数わりで決める。

③利用実態：利用者の利用促進はどのようにしていますか。

病院：お薦めの図書、トピックスの案内をする。

各病棟のベストマッチの本の紹介をして利用者を増やす。

大規模の見計らい図書を行う。